

## 燃料消費データの修正方法

- 燃料計の消費数値と実際の給油量に差異が生じた場合、±30%の範囲で誤差修正を行うことができます。

燃費が悪い場合、-(マイナス)修正

実際の消費より 燃料計の消費数値が少なかった場合。

燃費が良い場合、+(プラス)修正

実際の消費より 燃料計の消費数値が多かった場合。

例として、

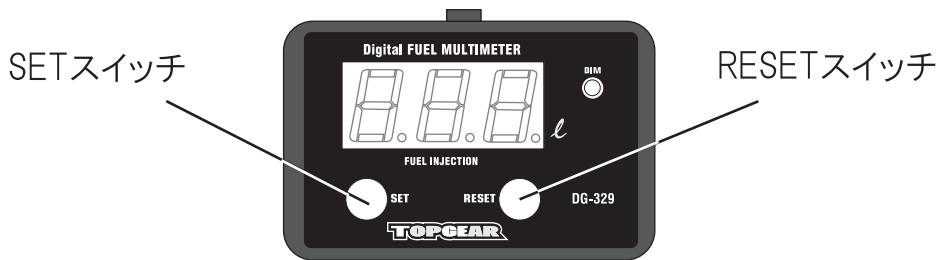
燃料計の数値上で10ℓに対して、実際の燃料消費量(給油量)が9.6ℓだった場合、実燃費が良いのでプラス側の修正となります。

実際の消費量(給油量) ÷ 燃料計の消費数値 = 修正値

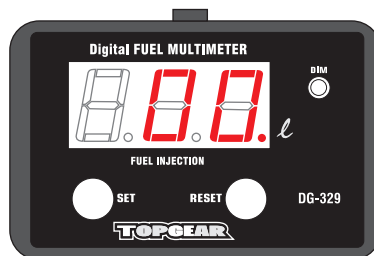
$$9.6 \ell \div 10 \ell = 0.96$$

したがって+(プラス)4%の修正となります。

- ①SET, RESETスイッチを同時に押しながら、キーONにします。



- ②00. が表示されます。



- ③RESETまたはSETスイッチを長押しして、誤差のパーセンテージを入力します。(マイナスの場合、画面の1番左の桁に-が表示)

※RESETスイッチ=数値が増える SETスイッチ=数値が減る

- ④入力したい数値が表示された後、スイッチを放すと数秒後に表示が残量または使用量に切り替わり登録が完了します。

※誤って登録されてしまった場合は、①からやり直してください。